

2015年1月29日

関係各位

会社名:三井物産株式会社
代表者名:代表取締役社長 飯島彰己
(コード番号:8031)
本社所在地:東京都千代田区丸の内
一丁目一番三号

米国Cameron LNG輸出プロジェクトに係る定期用船契約を締結

三井物産株式会社(本社:東京都千代田区、社長:飯島彰己、以下「三井物産」)は、米国Cameron LNG 輸出プロジェクト(以下「本プロジェクト」)における日本を中心とした需要家向けのLNG 輸送用に、定期用船による8隻のLNG 船調達を進めています。2014年9月26日に定期用船契約締結済の5隻に加え(同年9月29日付の適時開示「米国Cameron LNG 輸出プロジェクトに係る定期用船契約を締結」ご参照)、本日、更に2隻について、それぞれ下記の通り定期用船契約を締結しました。同2隻と締結済5隻を合わせた定期用船料の総額は最大約6,000億円となります。残る1隻についても、順次定期用船契約を締結予定です。

用船者	三井物産
船主	株式会社商船三井子会社(1隻) 日本郵船株式会社子会社(1隻)
船型	177,000 m ³ モス型 (新造船)
建造造船所	三菱重工業株式会社
用船期間	最大25年間
用船開始時期	2018-2019年

以上

本件に関する問合せ先:三井物産(株)

IR 部 TEL:03(3285)7910

広報部 TEL:03(3285)7540

ご注意:

本発表資料には、将来に関する記述が含まれています。こうした記述は、現時点で当社が入手している情報を踏まえた仮定、予期及び見解に基づくものであり、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包するものです。かかるリスク、不確実性及びその他の要素によって、当社の実際の業績、財政状況またはキャッシュ・フローが、こうした将来に関する記述とは大きく異なる可能性があります。こうしたリスク、不確実性その他の要素には、当社の最新の有価証券報告書、四半期報告書等の記載も含まれ、当社は、将来に関する記述のアップデートや修正を公表する義務を一切負うものではありません。また、本発表資料は、上記事実の発表を目的として作成されたものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。